

2015
ふれ愛グラスフ・ジャパンリーグ
報告書



主催・主管

NPO法人 ふれ愛びっく大阪クラブ

大会開催趣旨

視覚障害者がグランドソフトボール競技を通じて、体力の維持・増強に努め、勇気と希望をもって、逞しく生きていく能力を助長するとともに、この競技に関心を持つ健常者の参加を得て、障害者スポーツの振興と障害者福祉の増進を、また、広く健常者との交流を図り、社会への障害者スポーツに対する理解と関心を深めることを目的とする。

大会日程

代表者会議	平成 27 年 02 月 22 日 (日) 「アゼリア柏原」	
第 1 節	平成 27 年 03 月 29 日 (日) 大阪府立久宝寺緑地陸上競技場	雨天中止 (1 試合)
第 2 節	平成 27 年 04 月 19 日 (日) 大阪府立久宝寺緑地陸上競技場	
第 3 節	平成 27 年 05 月 24 日 (日) 大阪市立視覚特別支援学校	
第 4 節	平成 27 年 06 月 21 日 (日) 大阪府立久宝寺緑地陸上競技場	
第 5 節	平成 27 年 08 月 02 日 (日) 大阪市立視覚特別支援学校	
第 6 節	平成 27 年 11 月 08 日 (日) 大阪市立視覚特別支援学校	雨天中止
第 7 節	平成 27 年 12 月 06 日 (日) 大阪市立視覚特別支援学校	

チーム成績

優勝	四国フレンズ	5勝0敗
準優勝	三重県	3勝2敗
第三位	大阪市	3勝2敗
第四位	セイガンズテッド	2勝2敗1分
第五位	K O B E	1勝3敗1分
第六位	O C ユナイテッド	0勝5敗

個人表彰

首位打者(全盲)	四国フレンズ	桧垣直史	0.625
首位打者(弱視)	四国フレンズ	森島智秀	0.857
首位打者(晴眼)	セイガンズ	黒木悠輔	0.692
	セイガンズ	川島秀文	0.692
打点王(全盲)	該当者なし(表彰規定 3打点以上)		
打点王(晴眼・弱視)	セイガンズ	黒木悠輔	9
	セイガンズ	川島秀文	9
本塁打王(晴眼・弱視)	セイガンズ	黒木悠輔	3
	セイガンズ	川島秀文	3
長打王(全盲) (二塁打)	四国フレンズ	桧垣直史	1
	大阪市	左健吾	1
	セイガンズ	辰巳祐幸	1
最多勝利賞	四国フレンズ	大野修郎	3勝0敗
最優秀防御率賞	四国フレンズ	大野修郎	0.000

優勝

四国フレンズ



首位打者(全盲)
長打賞(全盲)



桧垣直史選手
四国フレンズ

首位打者(弱視)



森島智秀選手
四国フレンズ

首位打者(晴眼)
打点王(弱視・晴眼)
本塁打賞(弱視・晴眼)



黒木悠輔選手
セイガンズ



川島秀文選手
セイガンズ

長打賞(全盲)



左 健吾選手
大阪市

長打賞(全盲)



辰巳祐幸選手
セイガンズ

最多勝利賞
最優秀防御率



大野修郎選手
四国フレンズ



「2015 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ」大会要項

1 目的

視覚障害者がグランドソフトボール競技を通じて、体力の維持・増強に努め、勇気と希望をもって、逞しく生きてゆく能力を助長するとともに、この競技に関心を持つ健常者の参加を得て、障害者スポーツの振興と障害者福祉の増進を、また、広く健常者との交流を図り、社会への障害者スポーツに対する理解と関心を深めることを目的とする。

2 主催

特定非営利活動法人 ふれ愛びっく大阪クラブ

3 主管

特定非営利活動法人 ふれ愛びっく大阪クラブ

4 後援

大阪府、大阪市、八尾市、大阪府障害者スポーツ振興協会、大阪市障害者福祉・スポーツ協会、(一社)大阪府視覚障害者福祉協会、(一社)大阪市視覚障害者福祉協会、八尾市ソフトボール協会、やおコミュニティ株式会社、大阪日日新聞社

5 協賛

株式会社モルテン、サミージャパン株式会社、
特定非営利活動法人ふれ愛ガイドステーション

6 日時

2015年3月 ~ 12月

7 会場

大阪府立久宝寺緑地「陸上競技場」ほか
チームが所属する都道府県市で開催(チームが責任を持って開催 順番制)

8 競技運営

[1] 競技規則

運用する競技規則は、2014年全日本グランドソフトボール連盟競技規則を準用する

[2] 競技方法

参加チーム総当りリーグ戦とする。

リーグ戦は、7回または1時間20分を超えて新しいイニングに入らないものとする

る。

延長戦は、上記試合時間内で実施する。

代表者会議で決定された事項、特別グラウンドルールを競技規則としてそれぞれ採用することがある。

[3] チーム

障害者・晴眼者で構成されたグラウンドソフトボールチームとする。

選手登録は 30 名とし、その年間内での登録変更（チーム間の移動）は認めない。

なお、どのチームにも登録していない選手の追加登録は、随時認める。

チームとして特定非営利活動法人ふれ愛びっく大阪クラブ「正会員」（会費 年間 5,000 円）に加入のこと

チームがある地域で、原則として本大会を主管すること。

代表者会議・ルール研修会に必ず参加すること（2月16日大阪で開催）

[4] 雨天・荒天の取り扱い

開催の中止などは、主催者・主管チームにおいて決定し、各チーム代表者に連絡する。

9 表彰

[1] 勝率により、優勝チームを決定し表彰する

[2] 最優秀選手・優秀選手等個人表彰を行う（別途表彰規定に基づく 公式記録による）

投手部門 成績を公表（随時）

打者部門 成績を公表（随時）

10 参加費

60,000 円

（2014 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ大会 7 チーム 参加実績）

11 その他

記載の無い事項については、大会主催者・主管者が協議・決定し、チーム代表者に通知・連絡する。

<この大会に関する問い合わせ>

特定非営利活動法人

ふれ愛びっく大阪クラブ

理事長 藤 森 洋 幸

〒582-0009 柏原市大正 1-4-24

TEL・FAX 072-972-4512

携帯電話 090-8211-7158

Eメール fujimori@kawachi.zaq.ne.jp



「2015 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ」順位決定・表彰規定

順位決定

1	勝利数規定	勝利数の多い方を上位とする。
2	当該チーム勝者優位規定	直接対戦の勝者を上位とする。 但し、勝利数同数が2チームの場合とする。
		勝利数同数が3チーム以上の場合は(3)項以降で決定する。
3	勝ち点規定	勝ち点の多い方を上位とする。 「勝ち」を+1点、「負け」を-1点、「引き分け」を0点とする。
4	得失点差規定	得点と失点の差が多い方を上位とする。
5	失点規定	失点の少ない方を上位とする。
6	完封試合規定	完封試合勝利の多い方を上位とする。
以上の規定を「1」～「6」の順に優先し順位を決定し、同率順位はないものとするが、なおかつ決しない場合については理事会にて協議する。		

表彰規定等

1	チーム表彰	優勝チーム			
2	個人表彰	投手部門	最優秀防御率賞	10投球回数	以上
			最多勝利賞	3勝	以上
	打撃部門	首位打者	10規定打席数	以上	
		打点王	5打点(弱視・晴眼)	以上	
			3打点(全盲)	以上	
		本塁打	3本(弱視・晴眼)	以上	
	長打賞	1本(全盲)	以上		

(打撃部門のみ全盲・弱視・晴眼選手各々から選出)

2015 ふれ愛グラソフ・ジャパンリーグ競技役員

大会顧問	高橋あい子・山野 一美・川口 衷
大会会長	藤森 洋幸
大会副会長	赤松 保夫・古城 吉員・中尾 雅宣
競技委員長	堀川 俊純
競技副委員長	松野 宏信・奥野 繁 森下 敏彦（和歌山県ソフトボール協会理事長）
総務委員長	北山 武
総務副委員長	仲 廣好・飴谷 和美・杉原 政代 佐々木一光（愛媛県えひめ国体推進局）
審判委員長	堀川 俊純
審判副委員長	高松 行雄・松山 昭男・梁川 武
審判員	北山 武・河野 隆・古城 吉員・小島 新吉・田橋 圭三 田守 哲男・田 豊市・仲 廣好・林 高行・廣谷 美雪 藤森 洋幸・松野 宏信・溝上 清香・宮脇 正一・村上 義一 吉田智恵子・若林 隆夫 和歌山県ソフトボール協会審判員 愛媛県ソフトボール協会審判員
記録委員長	大谷 和之
記録副委員長	富士元元子
記録主任	杉原 政代・杉原 利治
記録員	北国 實男・中西 秀夫・西山 貴美・松本 太一・山田 幹雄 小池 江美・菊池 保幸 和歌山県ソフトボール協会記録員 愛媛県ソフトボール協会記録員
ボランティア	大阪府スポーツボランティア「もずやんV・Sクラブ」